環境市民の月刊会報誌

みどりのニュースレター

2014年1月号 **no.248**

今月の一枚



報告：

持続可能な社会へのステップづくり 環境首都創造自治体全国フォーラム2013 in 掛川

多様なセクターが環境政策について議論する「環境首都創造自治体全国フォーラム」。2013年は11月6、7日の2日間、お茶のまち静岡県掛川市にて開催され、自治体の首長、職員、NGOメンバー、学識経験者など約80人が参加しました（主催：掛川市、環境首都創造ネットワーク、環境首都創造NGO全国ネットワーク*）。

*環境市民は両ネットワークの事務局を務めています。

今年度の全体テーマ「環境首都創造ネットワークですすめる、持続可能で豊かな社会づくり」のもと、サブテーマ「気候変動防止、地域主体の再生可能エネルギーの拡大と低エネルギー社会実現法案、ステップアップのために必要な取り組み」「環境を大切にした産業の推進、地域雇用の創出・確保」について議論が交わされました。

本レポートでは特に議論が盛り上がった「再生可能エネルギーの拡大」「人材育成」、さらに掛川市から提案された「気候変動問題に真摯に向き合い、地域主体の再生可能エネルギーの拡大と低エネルギー社会を実現するための日本政府への緊急提言」（以下、「緊急提言」）、環境首都創造NGO全国ネットワークから発案された「環境首都創造ネットワークでの環境保全型産業の推進と、雇用確保のための共同行動提案」（以下、「共同提案」）についてご報告します。



■再生可能エネルギーの拡大――金融機関との協働

2012年の固定価格買取制度（FIT）開始後、国内で急激に再生可能エネルギーの導入が進んでいます。再生可能エネルギーは設備費用など多額の初期投資を必要とするため、金融機関、特に地域との広いネットワークを有する信用金庫などの協力が不可欠です。しかし、再生可能エネルギーの事業例が少なく、また発電量が天候に左右されやすいという特性から、信用力が十分ではなく、地元金融機関が融資に及び腰になることもしばしば。ディスカッションでは解決策として、再生可能エネルギーを推進する組織・

環境市民は認定NPOになりました！

環境市民は12月20日（金）付けで認定NPOとなりました。これまで活動をご支援くださった皆様に感謝申し上げます。今後さらに、ビジョン・ミッションの実現に向け、ほんとうに意義と効果のある活動に取り組んでいきます。多くの皆様のご参加、ご支援をよろしくお願いいたします。

今月の一枚

11月26日、特定秘密保護法案の廃案を求めて、「みんなで声をあげよう！ 11・25-26 秘密保護法をゆるさない緊急行動」（主催：特定秘密保護法に反対する京都府民有志）デモが京都で行われました。急な呼びかけにもかかわらず、約100人の参加者が仏光寺から京都市役所前まで歩きました。法案は強行採決されましたが、凍結、廃止に向けてあきらめずに行動していきましょう。

事業に自治体が信用力を与えることで、金融機関からの融資を受けやすくすることが必要との意見に多くの賛同が集まりました。この分野で先進的な長野県飯田市は、条例で地域の住民が地域の再生可能エネルギー資源を優先的に活用できる権利「地域環境権」を明記しました。この権利のもと、地元のNPOや金融機関も参加する審査会が再生可能エネルギー事業に指導、助言をし、市長が事業を協働による公共サービスと認定することで、事業に信用力を与えています。今後このような取り組みの拡大が再生可能エネルギー普及のひとつの鍵になりそうです。

■人材育成 ――自治体職員、市民、ＮＰＯに必要な力とは？

どんなに素晴らしいプランを考えても、推進していく人材がいなければ絵に描いた餅で終わってしまいます。ディスカッションでは、再生可能エネルギーを推進していくための多様なセクターにおける人材育成が必要との意見に多くの支持が集まりました。

自治体職員に求められるのは、他自治体の施策を単に模倣するのではなく、地域の実情にあわせて先行事例をうまくアレンジできる能力、そしてヒト・モノ・カネのコーディネート能力だとの意見が出されました。一方、市民やNPO側の課題として、活動の中核になれる人材を育てていく必要性が指摘されました。

これら行政、市民の人材育成における課題の打開策として、現存の先進的なNPOにインターンとして参加できる仕組みや、NPOが有しているノウハウを伝える方法が必要との意見がありました。

■緊急提言――日本政府へ方針転換を要求

本フォーラムでは、過去に再生可能エネルギーと低エネルギー型社会構築のための提言を採択し、社会に向けて発信してきました。今回の開催の直前、日本政府が「CO2排出量を1990年比で3.1％増加とする」目標を打ち出すという情報を得ました。開催地掛川市から本ネットワークとして緊急提言を採択したいとの提案を受け、今後のエネルギー政策の修正や再生可能エネルギー、低エネルギー社会への推進に向けた方針について緊急提言が提案、採択されました。今後、環境首都創造ネットワークとして政府に提言する予定です。

■共同提案――トップランナー自治体の産業と雇用の共同プロジェクト

環境首都創造ネットワークに参加する自治体はそれぞれ日本のトップランナーをめざす、意欲の高いところばかりです。このネットワークを活かし、共同で取り組むプロジェクトを創ろうとの声が以前からありました。そこで今回、①環境ラベル等製品サービスの共同販促、②環境学習ツアー・ツーリズム、③協働就職情報とＩターン、の三つの分野で、共同でプロジェクトを推進していく共同提案がなされ、採択されました。

詳細は環境首都創造NGO全国ネットワークのウェブサイト（http://www.eco-capital.net/）に記載されています。

2日間にわたり、ご紹介したテーマはもちろん、「人を惹きつける産業」「再生可能エネルギーに対する保険」等のテーマについても、熱く議論が交わされました。今回のフォーラムは、私たちの活動が持続可能で豊かな社会づくりに向けて確実に前進していることを実感できるものになりました。次回は2014年秋、京都府京丹後市にて開催されます。

（文／インターン　八柳 有紗）

セミナー&イベント情報

※環境市民の連絡先は4ページをご参照ください。

講座　ゲーム！　広告をつくろう！

1/11（土）　午後2:00から3:30

- ●ところ：伏見いきいき市民活動センター（京都市伏見区）
- ●対　象：小学生（両親同伴でも構いません）
- ●参加費：無料
- ●主　催：認定NPO法人環境市民
- ●申込み：お名前と電話番号を環境市民までご連絡ください。

テレビや新聞のチラシ、ポスターなど、いろんな広告があるけれど、エコめがねをかけて見たら、どんなふうに見えるかな？　何が見つかるかな？　広告の中に隠れている秘密を見つけ出したら今度は自分たちで広告をつくってみよう。

※本事業は、独立行政法人環境再生保全機構からの助成金を活用して実施いたします。

セミナー　経営リスク 経済のグリーン化を阻害するグリーンウォッシュをなくそう

「環境にやさしい」「植物性の」「エコな○○」……。ちまたには環境配慮をPRする言葉や表現があふれていますが、なかには消費者が、疑問に思うものも見られます。

1/24（金）　午後2:00受付開始 午後2:30から6:00

●ところ：ウインクあいち 906（9階）
（愛知県名古屋市中村区）
●対　象：企業（マーケティング、開発、企画、広報、CSR、環境担当者）、広告業界、消費者団体、環境 NGO、研究者、消費者
●参加費：2000円（2011年実施 英国、米国、オーストラリア調査報告書、2012年実施 仏国、英国、スウェーデン調査報告書）
※交流会費は1人2000円（要申込）
●定　員：50人
●申込み：お名前（ふりがな）、ご所属、電話番号、FAX 番号、E メール、ご住所、交流会の参加ご出欠を、以下環境市民までご連絡ください。
●主　催：認定NPO法人環境市民

不確かな情報や部分的な情報を伝えて、消費者の誤解をまねくような環境表示は海外で「グリーンウォッシュ」とよばれています。

環境の取り組みを伝えたい、環境対応型商品をアピールしたい、という企業の姿勢は大事ですが、グリーンウォッシュをしてしまうと消費者の信頼を失うばかりか、消費者の環境配慮型商品全般への信頼が崩れ、これからの世界にとって重要な「経済のグリーン化」の阻害要因にもなりかねません。

本セミナーでは、国内外の調査をもとに、なぜグリーンウォッシュが企業にとって問題なのか、どのように防げばよいのかを紹介します。

＜プログラム＞

●講演：グリーンウォッシュ　どのような問題なのか
◇講師：東京都市大学大学院環境情報学研究科 教授 中原 秀樹
●消費者1000人の環境表示・広告 認識 調査結果
●講演：国内外の事例とグリーンウォッシュを防止するための取り組み
◇講師：NPO 法人環境市民 代表理事　枚本 育生
●参加者意見交換会
◇講師・ファシリテーター：NPO法人環境市民　下村 委津子
★交流会（会費 1 人2000円、ビールなどドリンク、軽食付）

※本事業は、独立行政法人環境再生保全機構からの助成金を活用して実施いたします。

チョコレートって、どこで、どんな人たちが作ってるか知ってる？ 映画『バレンタイン一揆』上映＆トークショー

1/29（水）　午後7:30から9:15

●ところ：パタゴニア京都（京都市中京区）
●参加費：500円（フェアトレードチョコレートの試食付き）
●定　員：50人
●主　催：認定NPO法人環境市民、認定NPO法人ACE、 パタゴニア日本支社
●申込み：認定NPO法人ACE（エース）
東京都台東区東上野1-6-4 あつきビル3F
TEL：03-3835-7555
FAX：03-3835-7601
メール：event@acejapan.org

〈プログラム〉

●映画『バレンタイン一揆』上映
●トーク & Q&A タイム
・映画の裏話、カカオ生産国の児童労働状況や現地での活動
・フェアトレードの商品について
・消費者の商品選択に働きかけるグリーンコンシューマー活動について
●スピーカー
・篠 健司　（パタゴニア日本支社環境プログラムディレクター）
・下村 委津子　（NPO法人環境市民 理事）
・白木 朋子　（NPO法人ACE 事務局長）

誰でも参加できる1Dayボランティアデー

1/30（木）　午後2:00から5:00頃まで

●ところ：環境市民事務局
●申込み：不要

毎月、おしゃべりしながら会報誌『みどりのニュースレター』発送作業をしています。どなたでも参加できます♪

野の塾　もし明日、難民になったら…　――見まいとする力に向き合う

1/30（木）　午後7:00から8:40

●スピーカー：宗田 勝也（難民ナウ！代表）
●ところ：京町家 さいりん館（京都市中京区）
●参加費：環境市民会員　500円／一般 800円
●定　員：20人（先着順）
●申込み：お名前、電話番号、メールアドレス、会員か一般かを環境市民までご連絡ください。

紛争や迫害、暴力、人権侵害、などによって、世界中で何千万人という人が母国や住み慣れた土地からの避難を余儀なくされています。気候変動による海面上昇や異常気象、原発事故などの環境問題も拍車をかけています。

世界の国々、日本はどう対応しているのでしょうか。そして、もし私が難民になったら……。ラジオを通してまるで「天気予報」のように難民問題を伝え続けている宗田さんにうかがいます。

環境市民が「エクセレント NPO 大賞 組織力賞」にノミネートされました。

同賞は NPO を市民力、組織力、課題解決力の三視点から評価をし、NPO の基盤強化をめざしています。今回、ノミネートされましたのも多くのボランティア、会員のみなさんのご支援ご協力のおかげです。この場を借りて心から感謝申し上げます。

（概要）言論 NPO（www.genron-npo.net）＞第２回エクセレント NPO 大賞発表

理事会開催報告

第６期第11回（通算65回）理事会
とき：2013年11月４日（月）17:00～19:00
ところ：環境市民事務局
出席理事数：出席９人、委任６人

主な活動報告を行った後、新しく理事になった方もおられたため、環境市民の活動概要と中期計画について情報共有しました。また、現在手続き中の認定NPO法人の取得の状況（当時）について確認しました。討議事項では、現時点の財政状況について情報共有しました。

残念ながら今年度は委託事業の獲得が難しかったため大幅な赤字が予測されることが報告されました。解決策として寄付募集キャンペーンや講師派遣の促進、企業や自治体への事業提案などさまざまなアイデアが出されました。また、中期計画を実現するためにも、認定NPOを活用した寄付戦略を策定し、自主事業を確立していくなど組織の基盤強化をはかっていくことを確認しました。

最後に、現在の会計担当者が３月に退職するため後任の方を探す必要があることが共有されました。

※ 理事会の摘録はウェブサイトに掲載しています。（トップページ＞環境市民とは＞文書公開＞理事会報告）詳細な議事録を見たい方は事務局までご連絡ください。

新入会員インタビュー

中原 中哉さん
（北海道在住）

グリーンコンシューマーに関する枚本さん（本会代表理事）の講習会に参加し、環境市民を知りました。気になるのはやはり原発問題。近くに泊原発があるのですが、以前、近くを訪れた際、発電所のドームが見える所では植物の葉が黄色く変色しているなど、明らかに環境の変化が起きていました。公にされない危険性にも私達は目を向ける必要がありそうですね。

今月の新入会＆ご寄付・ご協力いただいているみなさん

ありがとうございます！

（新入会）中原 中哉さん、八柳 有紗さん、野田 晶子さん、野田 永利子さん

（ご寄付）内田 潔さん、高田 令子さん、長崎 純一さん

（ニュースレター作成協力）泉 克典さん、鷹野 圭さん

環境市民に入会しよう！

環境市民は、多くのボランティアと会員の皆さんの参加によって支えられています。「持続可能で豊かな社会づくり」のために、ぜひ会員になって環境市民の活動を応援してください！

●**会員特典：**入会時には記念のポストカードとバッチを差し上げます。月刊会報紙「みどりのニュースレター」、季刊マガジン「流れを変える」を無料でお届けします。行事の参加割引もあります。環境問題に関する質問や相談もできます。

●**入会申し込み：**郵便振替振込用紙に、住所・氏名・電話番号・会員の種類・送金内容事項をご記入の上、ご入金ください。

［ 法人会員の他、個人会員(年会費4,000円、入会金1,000円)、シニア・学生会員(年会費 3,000円) などの種類があります。詳しくは事務所まで。］

会費・寄付のお振込み先
【郵便振替】口座番号：01020-7-76578
加入者名：環境市民

●ご寄付：住所・氏名・電話番号・寄付金額をご明記の上、ご入金ください。環境市民へのご寄附は、税制上の特例措置が講じられ「寄附金控除・損金算入の対象」となります。詳しくは事務局までお尋ねください。

環境を身近に感じる 15 分
ラジオ番組　「環境市民のエコまちライフ」
●毎週月曜午後１:00 から 1:15（再放送は火曜朝７:00 から）
●京都三条ラジオカフェ（79.7MHz）　http://radiocafe.jp

だれもが参加できる環境 NGO

環境市民
Citizens Environmental Foundation
http://www.kankyoshimin.org
E-mail : life@kankyoshimin.org
TEL : 075-211-3521　FAX : 075-211-3531
〒604-0934
京都市中京区麩屋町通二条下る第二ふや町ビル 405
（月～金 午前 10:00 から午後 6:00、祝祭日除く）
● Twitter アカウント：　@kankyoshimin
● facebook　http://www.facebook.com/kankyohsimin



（発行）認定 NPO 法人 環境市民　（代表・発行人）枚本 育生
本誌の無断複写・複製・転載を禁じます。「環境市民」登録商標 第4809505号